

小学校3年生 図画工作の学習

「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ 母島の春をあらわそう！（4月）」

水彩絵の具の使い方を復習しながら、「母島」の春を感じる形や色を好きな大きさ、質感の紙を選んで描きました。絵の具の混ぜ方、水の量を調整しながら、紙の性質に合わせて、工夫して描くことの大切さを感じることができたようです。



「カラフルフレンズ 新しいともだちをつくろう！（4・5月）」



わた、落ち葉、ビーズ、タイル、ボタン、カラーサンド、シール、カラーセロハンなどの材料から発想を広げて、クラスの新しい友達をつくりました。袋の色や大きさに合わせて入れるものを工夫することがで



きました。また、生まれたカラフルフレンズを

教室や中庭に並べてデジタルカメラで撮影をしました。



「くるくるランド まわるしくみを使って（5月）」

割りピンの仕組みを理解してから、いくつかの場面が現れる「くるくるランド」をつくりました。土台の形や大きさ、数を決めたり、たくさんの紙の種類から選んだりして、思い付いたものを形にしていって楽しさを感じながら味わうことができました。つくる途中で、みんなの作品を鑑賞したり、遊んだりして、色や材料の組み合わせをより工夫したりしていました。



「わたしの6月の絵（6月）」

6月の母島の様子や感じたことを絵にしました。海と山に囲まれた母島の中で感じる音、におい、湿気などをみんなで整理しながら、イメージを広げ、形や色にしていきました。今回は、小笠原にちなんだ絵の具「OGASAWARA 50 COLORS」を使いました。絵の具のチューブに書かれた色の名前にも着目して色を選びました。



「くぎうちトントン（7月）」

金づちを使って木材にくぎを打ち、オリジナルキャラクターを生み出しました。それをもとにコマドリアニメーションをみんなで作り、副校長先生や担任の先生を前にして、即興でナレーションを付けて発表もしました。

